

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価進捗状況】

堺市立三原台小学校
校長 西村 和裕

中学校区におけるめざす子ども像 自己肯定感が高く、他者への思いやりある児童・生徒の育成

令和6年度 重点目標	心身ともに健康で、創造力に富んだ 主体的な児童の育成 (知・徳・体の調和のとれた児童の育成)	◆求める児童像	・考え工夫する子(創造性)	・協力する子(協働性)	・やりぬく子(自主性)
◇子どもに示す目標	みんな仲よし三原台っ子(豊かな心の育成)	はつらつと体力アップ三原台っ子(体力向上)	らくらくと読書100冊三原台っ子(読書活動の推進)		
◇教職員に示す目標	誰とでも元気にあいさつ三原台っ子(豊かな心の育成)	いつも自分で考え発表できる三原台っ子(思考力と表現力の育成)			
	総合的な学力の育成	子ども理解(特別支援と人権)	教師力・チーム力の向上	信頼される学校・開かれた学校	

<p>「確かな学び」の現状</p> <p>これまで堺版授業スタンダードの定着をめざし授業改善に取り組んできた。児童同士の交流や発表の場面が授業時にはよく見られるようになってきている。今年度は「学びのコンパス」が提示されたので、より主体的に児童が学習に取り組めるようにしたい。また学校群モデル校1年目で日本語指導に重点を置き、児童の語彙力向上が見られた。2年目、さらに学力向上につながるために、中学校区でより連携を深め、「特別支援教育の視点に立った誰一人取り残さない教育」に取り組んでいきたい。全校的には、基礎基本の学習を繰り返すことや家庭学習・自主学習の定着に重点を置き、タブレット端末の授業時の活用についても前年度より時間を増やし、GIGAスクール構想の推進をさらにおこなってきたい。</p>	<p>「豊かな心・健やかな体」の現状</p> <p>コロナ禍があけて1年となるが、集団生活になじめない児童の増加や体力低下がまだ課題である。現在、個別の支援をおこなっていくことが必要な状況は多くあるため、今年度も学校群をベースに、また、外部機関とも連携し、特別支援教育に立った個別最適な学びの実現をめざし取り組んでいく。また協働的な学びを通して、子どもたちの「自己肯定感」「思いやりの心」を育てていきたい。大きな課題である体力低下の面については、全校あげて体力アップの取組をすすめたい。学校協議委員会でのご意見をもとに対策をとったり、授業時の体力づくりの準備運動を全校で共有したり、日常生活や家庭でできる体力向上の取組などを推進し、さらなる全学年児童の体力向上をめざす。</p>
--	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～9月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	考え工夫する子の育成	子どもの学ぶ力を育てる	●児童の日本語力の育成と指導の系統性を意識した全員がわかる授業づくり。 ★主体性を意識した特別支援と教科学力の両面からの授業づくり。(学校群でのめあて「誰一人取り残さない、わかる授業づくり」の推進)	日本語力の育成に取り組んでいる。系統性を意識して授業をすすめている。 国語の授業が好きと肯定的に答える児童の割合の増加	授業見学 研究授業検討会 堺市児童アンケート調査	年度末 1学期と年度末で比較	◎ 段階に言葉の宝箱を掲示している。1,6年で校内研究授業実施。学校群で日本語力の育成に取り組んでいる。 ◎ UDをはじめ、特別支援教育の研修を行った。また大阪教育大学教授を招き教科学力の研修を行っている。		
		基礎学力の定着	・授業の流れや自分の考えがわかるノートづくり。 ●基礎学力の定着を図る取組(家庭学習の定着) ●GIGAスクール構想推進(一人1台のタブレット端末活用の充実を図る)	8割の児童が自分の考えを文や絵図でノートにまとめることができる。 3年以上の学年で、週3回以上のタブレット使用。	授業見学 担任確認 堺市教員アンケート調査	年度末 毎学期	○ きらりノートを掲示。堺版スタンダードに則ったノートづくりを行っている。 ○ 週平均3.1回タブレットを活用した授業を行った。		
	生活習慣の改善	子ども理解	★集団になじめない児童の居場所づくりと、小中9年間を見通した児童理解・教育支援。(学校群2年目) ●いじめ・不登校の早期発見・早期対応につとめる。	校内支援委員会をもとに児童理解を深め学校群をも含めた組織的取組を行う。 いじめ・不登校への早期対応	学校アンケート いじめ早期解決 不登校数減少	年度末	○ 校内支援委員会の定期的開催で児童理解を常時行った。!ノースルーム継続により不登校早期対応を進めてはいるが、少し増加傾向にある。		
		基本的な生活習慣の定着	・自分からすすんであいさつする子どもの育成。 ・「読書活動(全校一斉朝の読書タイム)」の充実。 ★「みんないっく」家での7つのやくそくを軸とした生活習慣の改善。(学校群をベースに取組む)	あいさつ運動の啓発・取組 図書館教育の推進 みんないっくアンケート実施分析 みんないっく授業・児童への啓発	堺市児童アンケート調査 みんないっく授業の全クラス実施	年度末 年度末	○ 毎週水曜日のあいさつ運動実施。朝の読書タイムと読み聞かせ実施。 ◎ 6/4にみんないっくフォーラムを本校で実施。全クラスで公開授業を行った。		
豊かな心・健やかな体	体力向上	体力アップと子どもの体力向上に対する意識の高揚・運動量の確保	●体育授業での基礎体力向上に向けた全校での取組。 ・主体的に体力向上に取り組む子どもの意識づくり。 ・委員会中心に外遊びをする子どもを増加させる。 ・家庭と連携した体力向上の取組。	柔軟性の計測値アップと反復横跳び(敏捷性)の記録向上が図れている。 自主学習としての体力アップに取り組む児童の増加	スポーツテストと1月での計測値比較 学校教育自己診断アンケート	年2回計測時 年度末	○ 体育授業の初めに全学年共通の曲を流しての準備運動を実施中。 ○ 体力測定に向け、休み時間に握力測定や反復横跳びの練習を自主的にした。		
		家庭・地域連携	保護者・地域への情報発信と幼保小中も含めた地域共同体づくり	HPや「学校だより」等による情報発信。 ・堺版地域コミュニティスクールの体制づくり。 ・地域行事への協力・積極的参加 ★幼保小中連携の「みんないっく」の取組を行う。 ・幼保小中の交流と連携を行う。	HP毎日更新し、アクセス250以上。 地域人材活用、出前授業の実施。 地域行事に協力・参加 みんないっくリーダー研修参加 幼保小中の交流(ワクワクひろば等)。	HP毎日更新 出前授業複数回実施 地域との交流増加 学年・学校での取組	年度末 年度末	◎ HPIは毎日更新、地域人材活用で防災いのちの授業、出前授業も実施。地域青帯活動で学校の溝掃除実施。 ○ 学校群・みんないっく推進委員会での幼保小中の交流と連携を進めている。	

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------